

戦略1 『あらゆる人が力を発揮できるまちづくり』戦略

目指すべき姿 女性・子ども・若者・シニアのポテンシャル発揮と、健康づくりで元気なまち

子育て支援・子ども・若者の育成

◆切れ目のない子ども・子育て支援

保育所待機児童ゼロを継続するとともに、小学校入学を機に、仕事と育児の両立が難しくなる、いわゆる「小1の壁」をなくすため、留守家庭児童の放課後の居場所を充実します。

また、2015(平成27)年度施行予定の子ども・子育て支援新制度へ円滑に移行するため、「横浜市子ども・子育て支援事業計画(仮称)」の策定等により、妊娠・出産時の支援や在宅の子育て家庭を含めた全ての子育て家庭及び子どもを対象とした子ども・子育て支援の充実に取り組みます。

◆たくましく生き抜く力を育む教育と若者の自立支援

子どもや若者が、将来の生き方や進路に夢と希望を持ち、社会的・職業的に自立することを目指して、幼児期から小、中、高校までの発達段階に応じたキャリア教育や、若者の就労、自立に向けた支援に取り組みます。また、生徒一人ひとりの個性を伸ばす中高一貫教育の推進や、特色ある高校づくりを進めます。さらに、英語・理数教育等の充実、留学支援、多文化理解の促進等により、国際的な舞台で活躍できるグローバル人材の育成に取り組みます。

女性の活躍支援

◆日本一女性が働きやすい、働きがいのある都市の実現

女性起業家への支援の充実や、産学連携等による再就職支援、キャリア形成の機会の提供、女性の就業継続に取り組む企業への支援など、女性が社会で活躍するための支援を強化し、日本一女性が働きやすい、働きがいのある都市を目指します。

シニアパワーの発揮

◆シニアの活躍による活力ある地域社会の実現

高齢者の福祉、保健、医療などの充実に加え、気軽に地域貢献ができる仕組みや、就業に関する機会や情報の提供機能などにより、高齢者の活動の場を広げ、地域や企業等において、横浜の元気づくりの主役として、また多様な働き手としても活躍することで、生涯現役社会を実現します。

370万人の健康づくり

◆活力ある横浜を創る健康づくり

健康寿命日本一を目指し、新たな健康施策を、経済の分野などとも連携して幅広く展開し、全市民が健康づくりに取り組むまちづくりを進めます。よこはまウォーキングポイント事業の実施や健康医療情報の活用、身近な地域におけるスポーツや文化芸術等を通じた健康・生きがいづくりを推進します。また、生活に困難を抱える方々に対する健康面に着目した支援や、障害者の就労・社会参加をはじめ、多世代にわたる活動の場づくりに取り組みます。さらに、民間企業等との連携協議会などで新たな健康関連サービスの創出を図ります。

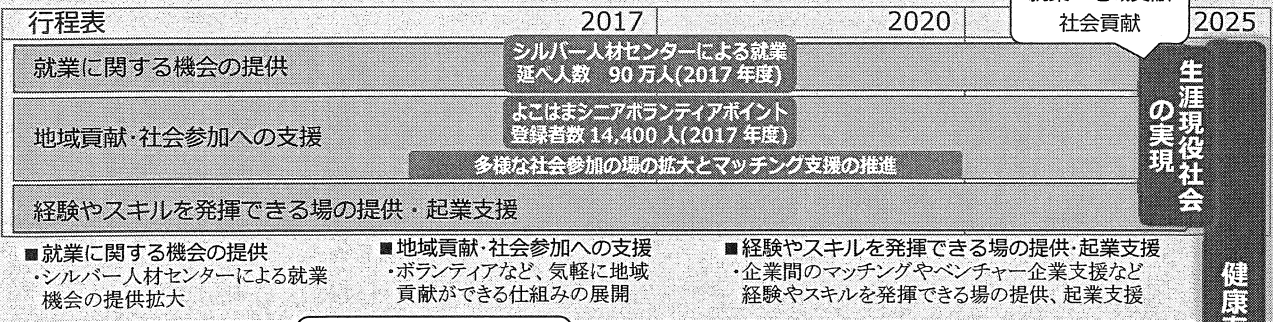
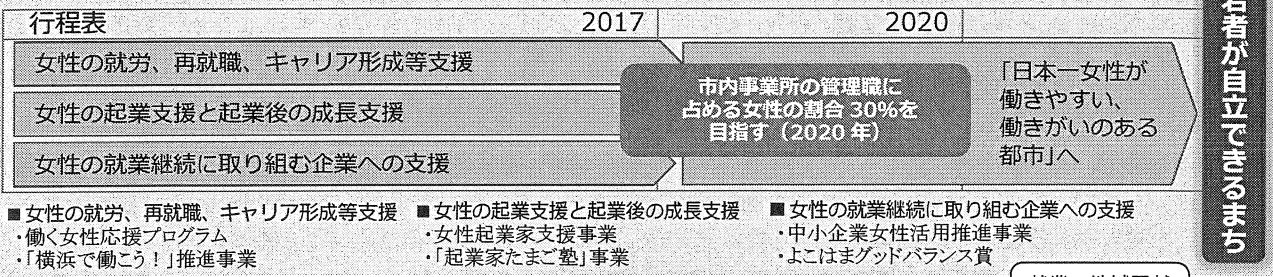
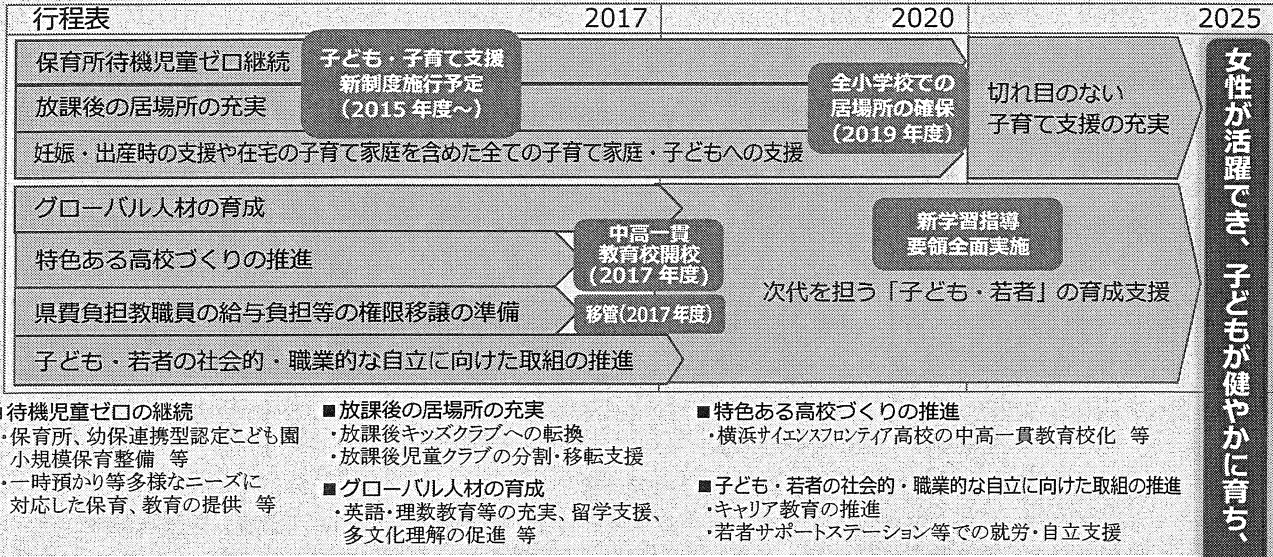
◆支える医療の充実と医療水準の向上

在宅における医療と介護の連携の推進や人材の確保などにより、市民ができる限り住み慣れた家庭や地域で療養できる環境の強化に取り組みます。また、救急救命体制の充実や市民病院の再整備などを進めるとともに、横浜市立大学附属病院の将来的な機能の検討を進めます。さらに、先進的な研究により再生医療の可能性を実現につなげていきます。

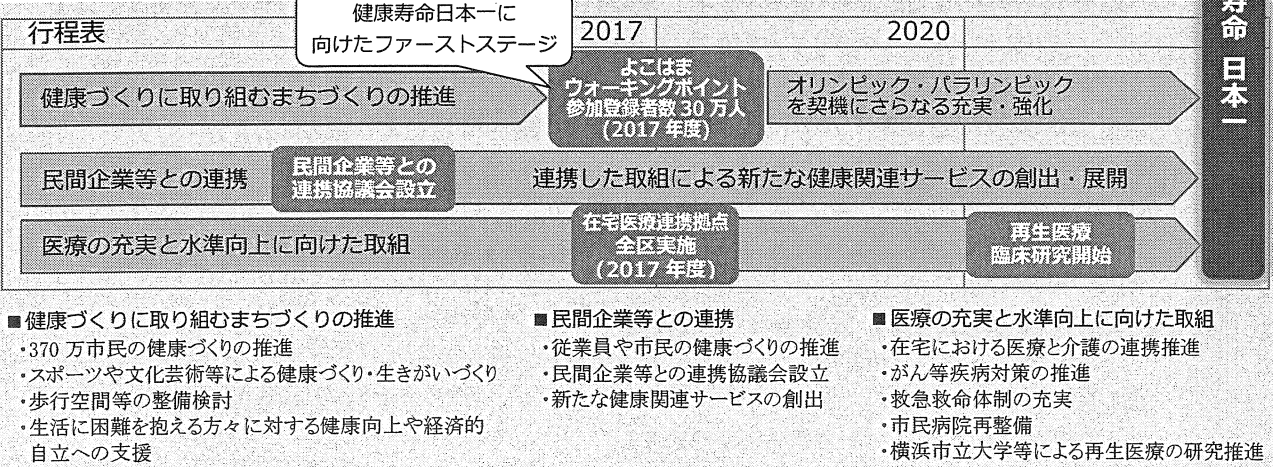
目指すべき姿
の説明

少子高齢化の進展に伴い、社会を支える層の減少や福祉・医療サービスの需要増大などが見込まれる中、未来を担う子どもや若者の育成をはじめ、活力ある都市を実現していくために必要となるあらゆる人の力を引き出します。また、その基礎となる健康づくりに全市民が取り組める社会づくりを推進していきます。

女性が活躍でき、子どもが健やかに育ち、若者が自立できるまち



健康寿命 日本一



戦略2 『横浜の経済的発展とエネルギー循環都市の実現』 戦略

経済
エネルギー

目指すべき姿 活力ある経済が豊かさを生み、エネルギーが効率よく循環するまち

成長分野の育成・産業拠点の強化

◆成長・発展分野の育成

これまでの産業集積、国家戦略特区や国際戦略総合特区の指定等を踏まえ、**新技術・新サービスの開発や立地・投資の促進**により、今後の成長・発展が期待される分野の育成に取り組みます。

・「環境・エネルギー」分野

省エネ住宅に関する**技術開発や受注拡大**、新たなエネルギー関連の研究開発や設備投資を促進します。

・「健康・医療」分野

特区制度を活用した**ライフイノベーション関連の最先端技術・製品・サービスの開発**、**医療・介護機器開発等への市内企業の参入を促進**します。また、市内の医療機関等の臨床研究ネットワークの構築や、新たな**健康・長寿関連サービス産業の創出**に取り組みます。

・「観光・MICE」分野

新たなMICE施設の整備や誘致・開催支援の充実、市内での関連産業の育成に取り組みます。

・上記3分野以外の重点分野

「港湾・物流」「農商工連携」「商業・サービス」の各分野において、**コンテナターミナルなどの整備や物流施設の立地誘導**、**都市農業の推進**、**新たなサービスの創出**などに取り組みます。

◆発展を支える「企業・人材」の育成支援

成長分野へ挑戦する企業への支援の重点化や**海外進出・海外展開**による成長促進、**起業家育成**、**産学官連携の一層の強化**等により、発展を支える企業や産業人材の育成を目指します。

◆産業拠点の強化・発展

成長・発展分野について、**エリア・対象を明確にした企業誘致・研究開発機能の集積**等により、「京浜臨海部」、「都心臨海部」、「金沢産業団地周辺」などの**特徴ある産業拠点の強化・発展**を目指します。

活力ある都市農業

◆市内農産物の付加価値向上

市民、企業のニーズをとらえた**高品質な農産物の生産振興**、**飲食店、加工業者等と生産者とのマッチング**による**6次産業化**等を進めるほか、「横浜農場」発の農産物を、「横浜野菜」などの**ブランド**として確立し、市内外での**農産物の需要の拡大**を目指します。

◆安定的・効率的な農業生産の支援

農地貸借の意向について情報を集積し、**営農意欲の高い農家への集約化**を進めるとともに、**農業生産基盤や生産施設の整備・改修の支援**を行い、**安定的・効率的に農業が持続**できる環境を整えます。

◆多様な担い手の支援、育成

意欲的に農業に取り組む担い手の農業経営の支援や、**新たに農業を支える担い手の育成・参入**を進め、**多様な担い手**により、横浜の農業を持続していきます。

エネルギー施策の推進

◆将来のまちづくりを見据えたエネルギーマネジメントの推進

市民、事業者との連携による**エネルギー施策を進めるためのアクションプラン**を策定するとともに、これまでの**HEMS^{※1}、BEMS^{※2}の実証実験**等を踏まえ、**みなとみらい21地区**をはじめとした**業務系地域や臨海部の工業系地域**等において、都市活動に必要な**エネルギーの自立・分散化**や**効率的なエネルギーマネジメントシステム**の構築等に向けた取組を進めます。

※1 HEMS:家電製品などの消費電力を「見える化」し、効率的な節電等をコントロールするシステム。 ※2 BEMS:ビル内の消費電力を一括管理し、省電力化するシステム。

◆再生可能エネルギー等の導入促進

都市活動から生まれる**生ごみ等のバイオガス化実現可能性の検討**をはじめ、**小水力発電**、**下水汚泥の燃料化**等や、**水素などの再生可能エネルギー等の活用検討**、**導入**を進めます。

◆環境に配慮したライフスタイルの推進

3R^{※3}の取組や**温暖化対策の実践**など、**市民、事業者、行政が一体となったライフスタイルの定着**を図るとともに、**住宅の省エネ化**についても**2020年の義務化(新築)**に先駆けた普及を図り、**市民力をいかして省エネ化の取組**を進めます。

目指すべき姿
の説明

中小企業に対する基礎的支援の充実を前提に、成長・発展分野の育成や産業拠点の強化、横浜の特性をいかした都市農業の推進などにより、産業の振興と、新たな雇用の創出や横浜経済の活性化につなげます。
また、環境未来都市にふさわしい先進性の高いエネルギー施策を進め、エネルギーが効率よく循環するまちを目指します。

行程表	2017	2020	2025
成長・発展分野での新製品・新技術開発促進や新サービスの創出			豊かな市民生活を支える 横浜経済の実現
国家戦略特区などを活用したライフィノベーション分野の技術・製品開発・実用化に向けた支援、関連産業の集積			
ソフト・ハード両面によるMICE機能の強化		新たなMICE施設の完成(2019年度)	
海外進出・海外展開支援と創業・ベンチャー企業の育成支援			
条例検討 積極的な企業誘致と産業拠点の強化	新規立地65件(2017年度)		

- 成長・発展分野での新製品・新技術開発促進や新サービスの創出
 - ・新たな技術・製品・サービスの開発などに取り組む中小・中堅企業への支援
 - ・新たな健康関連サービスの創出
 - ・「植物工場」関連産業の育成

- 海外進出・海外展開支援と創業・ベンチャー企業の育成支援
 - ・市内企業の海外展開支援
 - ・海外インフラビジネスへの支援
 - ・起業・創業・ベンチャーの促進

- 特区を活用したライフィノベーション分野の技術・製品開発・実用化に向けた支援
 - ・市内企業等の研究開発を支援
 - ・横浜市立大学先端医科学研究センターでの研究開発
- 積極的な企業誘致と産業拠点の強化
 - ・グローバルに活躍する企業や成長・発展分野の企業の誘致
 - ・京浜臨海部の研究開発拠点としての機能強化
- ソフト・ハード両面によるMICE機能の強化
 - ・新たなMICE施設の整備
 - ・MICE関連産業の成長促進
 - ・MICE誘致・開催支援



IPS細胞研究風景



植物工場

行程表	2017	2020	2025	
ブ都市農業政策推進	高品質な農産物の生産振興・企業とのマッチング	生産設備導入支援30件(2017年度)	ブランド戦略の推進	活力ある都市農業
	農地の利用促進、生産基盤の整備・改修			
	意欲的な農家の支援、新たな担い手の育成	新たな担い手の移入・育成400人(2017年度)		

- ブランド戦略の推進
 - ・高品質な農産物の生産振興
 - ・企業連携による農産物の利活用促進
 - ・積極的なプロモーションの展開

- 農地の利用促進、生産基盤の整備・改修
 - ・農地貸借の意向調査、情報集積による農地の集約化、貸し借りの促進
 - ・生産施設の整備、老朽化設備の改修支援

- 意欲的な農家支援、新たな担い手育成
 - ・認定農業者など意欲的な農家の育成
 - ・環境負荷の低減に取り組む農家の支援
 - ・農業技術向上に向けた研修会の実施

行程表	2017	2020	2025
みながみらい2050プロジェクト計画策定	みながみらい21地区における効率的なエネルギー利用やBLCP*3などに対応したまちづくりの推進	みながみらい21環境ショーケース	スマートシティの実現
エネルギーアクション策定	エネルギーの自立・分散化とエネルギーマネジメントシステムの構築に向けた推進		
	都市活動から生まれる再生可能エネルギー等の有効活用(生ごみ等のバイオガス化実現可能性の検討、水素活用など)	市内における創エネルギーの取組拡大	
	省エネ住宅関連の市内企業の技術開発促進・受発注拡大と普及に向けた市民啓発	省エネ住宅義務化(新築) 普及拡大	
	環境に配慮したライフスタイルの推進		

- エネルギー自立・分散化、エネルギーマネジメントシステム構築
 - ・公共施設等におけるエネルギー融通、使用の最適化
 - ・複数ビル等を連携させた電力ピークの平準化

- 再生可能エネルギー等の有効活用
 - ・生ごみ等のバイオガス化の実現可能性検討
 - ・小水力発電、下水汚泥の燃料化
 - ・公共施設における太陽光発電設備導入
 - ・水素の活用

- 省エネ住宅普及
 - ・住まいの相談体制の充実
 - ・住まいのエコノベーションの推進

*3 BLCP: Business Living Continuity Planning(災害や事故に対して、最低限の事業活動や生活の継続を図るための危機管理に関する行動計画)の略

戦略3 『魅力と活力あふれる都市の再生』 戦略

目指すべき姿 **世界中の人々や企業を惹きつけ、誰もが住みたい、住み続けたいと思えるまち**

目指すべき姿
の説明

横浜の成長エンジンとなる都心臨海部では、山下ふ頭など新たな土地利用の展開、大規模集客施設の導入等による快適で魅力的なまちづくりや観光・MICE振興、先進的な文化芸術創造都市の取組などにより、市民・企業・行政が一体となり、世界中の人々や企業を惹きつけ、都市の活力と賑わいを創出するまちを目指します。

(1) 都心臨海部

(2) 郊外部

◆ 都心臨海部の魅力向上

グローバル企業を積極的に誘致する国際ビジネス拠点として、企業誘致に不可欠な生活環境の充実強化のため、**横浜駅周辺地区**では、**業務・商業機能に加え、高規格住宅等の導入により大規模な都市のリノベーションを進めます。**あわせて、**みなとみらい21地区**においては、**観光MICE機能の集積をいかして、さらなるグローバル企業などの誘致を加速させます。**

また、**山下ふ頭周辺地区**においては、**大規模で魅力的な集客施設の導入などを含め、都心臨海部の新たな賑わい拠点となる再開発を推進します。****関内・関外地区**では、**新市庁舎整備や、横浜文化体育館（武道館機能を含む）、現市庁舎街区の再整備を含めたさらなる活性化を推進します。****東神奈川臨海部周辺地区**では、**駅周辺の再開発と、東高島駅北地区の水辺など地域資源をいかした再整備を進めます。**

東横線跡地を活用した遊歩道づくりや、グランモール公園のリニューアルにあわせた緑の創出、街路樹の育成を通じた**緑のネットワークを形成**するとともに、公園や港湾緑地、公共施設の空間を相互に連携させ、**季節感のある緑花**により、エリア全体の魅力を高めます。

さらに、このような各エリアの都市機能の連担性を高め、世界中の人々を惹きつける魅力を増幅させるため、今後の都心臨海部の開発状況や既存の交通インフラの利用状況を踏まえ、**回遊性を向上させ、まちの賑わいづくりに寄与する新たな交通を導入し、都心臨海部の賑わいの軸を形成していきます。**

◆ 進化する国際的な観光MICE都市

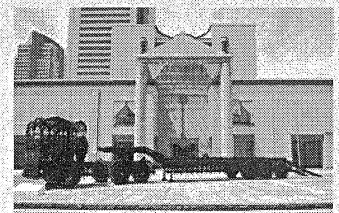
オリンピック・パラリンピックを好機とし、日本を代表するクルーズポートとしての**客船の受入機能強化**や海外からの誘客プロモーションの強化及び受入環境の整備を進めます。また、**MICE機能を拡充**し、中大型の国際会議や医学系会議等、波及効果の大きいMICEの誘致を強化し、横浜の強みをいかした**国際的なMICE拠点都市**を目指します。

さらに、**大規模スポーツイベントの誘致・開催やスポーツ施設の再整備**に取り組むとともに、**統合型リゾート（IR）の活用手法や官民パートナーシップの活用等**を検討します。これらの取組を通じた都市ブランド力の向上や賑わい創出により、横浜経済を活性化します。

◆ アジアの核となる文化芸術創造都市

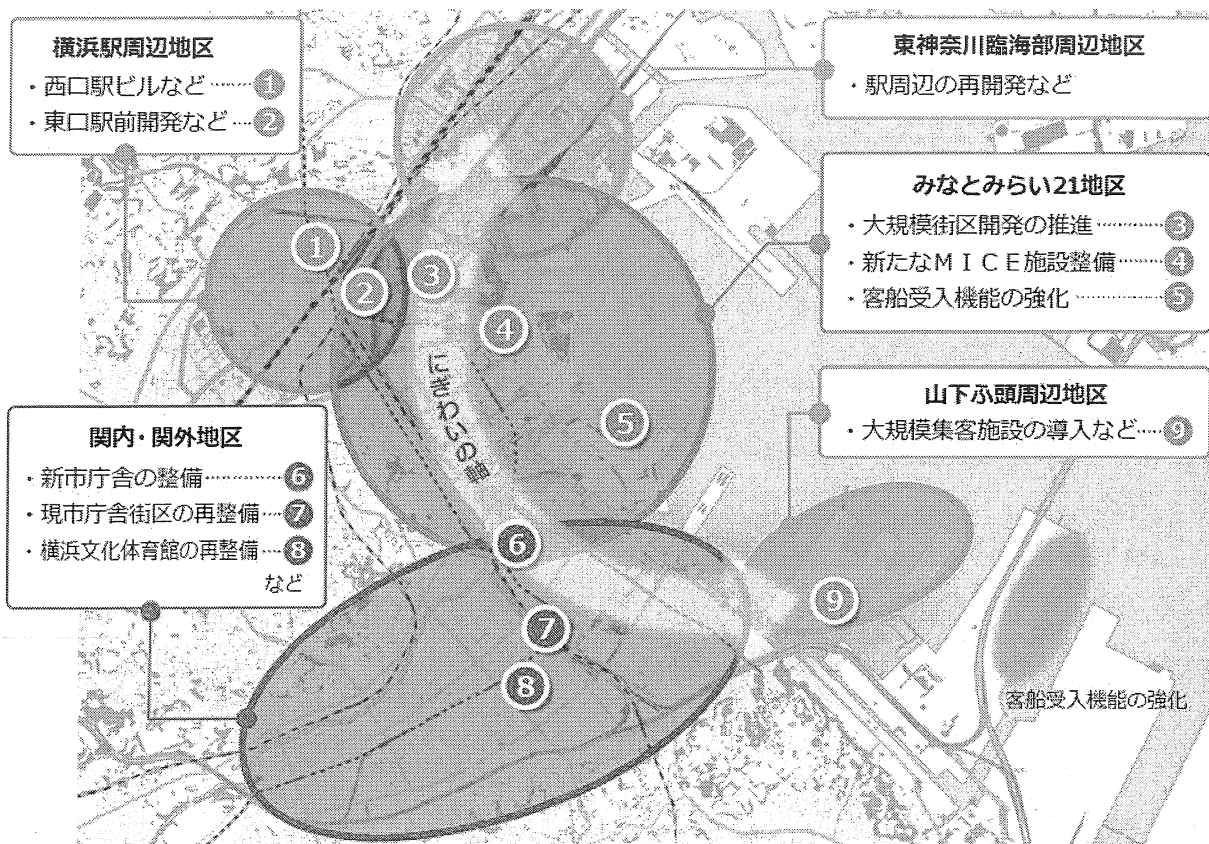
国や他都市と連携した、**オリンピック・パラリンピックの開催にあわせた文化プログラムの実施や、横浜らしい特色ある芸術フェスティバル**などの継続的な展開により、世界に向けた文化芸術の発信力を強化し、**アジアの文化ハブ**としてのプレゼンスを高めます。

また、**アーティスト・クリエイター等の人材の集積を一層図り、企業・NPO・大学等との協働を進めるなど、創造的産業を創出**するとともに、**地域資源を最大限に活用しながら横浜から才能ある芸術家が世界に羽ばたく環境づくりを進めます。**



ヨコハマトリエンナーレ 2014
ウィム・デルボア《低床トレーラー》2007

都心臨海部の再生・機能強化



行程表	2017	2020	2025	2025~
エキサイトよこはま22※1の推進	西口駅ビル 着工	完成 (2020年度)	その他の民間開発推進	世界中の人々や企業を惹きつけ、都市の活力と賑わいを創出するまち
	東口駅前開発 着工	一部完成	継続推進	
みなとみらい21地区の推進	大規模街区開発の推進 (60・61街区等)			
	新たなMICE施設整備 (設計等)	着工	完成 (2019年度)	供用開始
山下ふ頭の再開発				一部供用 (2020年)
関内・関外地区の整備推進	新市庁舎 着工	完成 (2019年度)	供用開始	
	横浜文化体育館(武道館機能を含む)・現市庁舎街区の再整備			
新たな交通 (LRT※2など)	構想・検討	事業化検討	一部事業化	
客船の受入機能強化	新港9号岸壁	完成 (2017年度)	供用開始	
	ベイブリッジを通過できない超大型客船の受入施設の整備			
統合型リゾート (IR) 《国の動向》	推進法 制定	実施法 制定	区域 指定	法の制定等、国の動向を見据えた検討
横浜らしい特色のある芸術フェスティバルの実施による賑わい創出 (横浜トリエンナーレ事業・横浜芸術アクション事業)	オリンピック・パラリンピック開催にあわせた文化プログラムの実施			
東アジア コムパニオン文化都市 ☆ 2014開催	☆ トリエンナーレ開催予定年			☆
緑や花による魅力づくり	☆ 都市緑化フェア	花と緑による賑わいのあるまち		

※1 エキサイトよこはま22:横浜駅周辺大改造計画 ※2 LRT:Light Rail Transit(次世代型路面電車システム)の略